

カメラマン 真島 香さん

# 湾岸・お台場を撮り続ける

お台場海浜公園  
マリンハウスで常設展示

お台場の空は広く、大自然の色を写す大キャンパス。白砂青松、海は青く清々しい。先月からお台場海浜公園内の噴水施設「東京アクアシンフォニー」の運営も始まった。そんなお台場で春夏秋冬、雨や風、雪の日も毎日のように屋外に出てシャッターチャンスを狙う写真家の真島香さん。お台場に移り住んで28年、季節や気候の変化、光の角度、温度や湿度さえも頭に入れ、地域の魅力をカメラに収めている。新しい橋や建造物、浜辺のイベントなどのほか、浜辺に訪れる観光客の集合写真なども快く引き受ける。

周年フォトコンテスト」の審査も行い、その入選作品は東京都港湾局のHPで観ることもできる。

多くのマスコミでもお台場のカメラマンとして紹介され、地元の人でも知らない写真スポットを写真教室の生徒にも惜しみなく教える。数年前に「ゆりかもめ」が走る風景を綴った同社の年間カレンダーが評判になった。かつての晴海客船ターミナルでは13年前から閉館まで「大都会の晴海埠頭写真展」を開き、また、数々のフォトコンテストの審査員をも務める。最近では東京都の「海上公園50

「湾岸、お台場エリアは日々変わっていきます。同じ撮影ポイントでも建物が立ち、気候の変化に加え、訪れる観光客も変わります。見方を変えると、普段目にする樹木が、看板が、人の顔だったり、良いフレームになったりと、驚きやチャンスに恵まれてうれしいです。皆さんが、あっと驚くような感動する写真を湾岸エリアで撮り続けたいですね」と真島さん。

お台場海浜公園のマリンハウス4階では12年前からの「台場史跡パネル展を始め、独自の企画として「サンセット お台場写真展」「マリンスポーツ お台場写真展」「海の灯まつり」お台場写真展「レインボーブリッジ写真展」「東京港花火写真展」「Sunset Drama」鳥たちのお台場「Odaiha system」と続き、今年は少しエリアを広げて湾岸エリアをテーマにした写真展を企画している。

お台場海浜公園のマリンハウス4階では12年前からの「台場史跡パネル展を始め、独自の企画として「サンセット お台場写真展」「マリンスポーツ お台場写真展」「海の灯まつり」お台場写真展「レインボーブリッジ写真展」「東京港花火写真展」「Sunset Drama」鳥たちのお台場「Odaiha system」と続き、今年は少しエリアを広げて湾岸エリアをテーマにした写真展を企画している。



上から「お台場の夕焼け」「お台場第三公園の桜」「お台場レインボーブリッジ」「辰巳の一本桜」真島香さん撮影

お台場海浜公園 マリンハウス  
港区台場1の4

ゆりかもめ線 お台場海浜公園駅、台場駅から徒歩4分  
りんかい線 東京テレポート駅から徒歩7分

海上公園50周年フォトコンテストの  
入賞作品は、東京ミナトリエ  
(青海)で4月17日から  
5月31日(日)まで展示  
東京都港湾局のHP



真島 香さん

真島 香 HP <https://komajima-p.com/>